

6. 農村環境の保全はなぜ必要だと思いますか？

★農業農村整備事業をおこなうために環境保全が必要

今後は

★環境保全は農業・農村地域の付加価値増進の手段

つまり

★農業・農村の多面的機能増進につながる環境保全が必要
地域の農業・農村のいろいろな役割を農家・非農家が再認識することが大切
そうすることで、
地産地消・資源保全・資源循環・バイオマス利活用の社会へと展開し、
究極的には、ゼロ・エミッション社会へ進展する。

★環境保全は農業・農村地域の付加価値増進の手段

JAささかみの取り組み事例

平成2年度に「**ゆうきの里ささかみ**」宣言

平成8年度には**第1回全国環境保全型農業推進コンクール**で、農林水産大臣賞を受賞

平成16年度には私共と首都圏コープ事業連合それと阿賀野市3者で取り組んでいる

「食料と農業に関する推進協議会」がNHKと全国農協中央会が主催する、**日本農業賞の特別部門「食の架け橋賞」の大賞を受賞**

年間を通して、**人的交流を中心にありとあらゆる「笹神農産物」を流通**

JAささかみの〇〇課長の話

『生協さんと生き物調査とか、グリーンツーリズムで、消費者と生産者の交流をやっていると、都会の消費者から笹神のみなさんは贅沢だとよく言われます。おいしいお米、直接畑から新鮮な野菜が食卓にのりますし、のどが乾けば岩瀬の清水のような、ものすごくミネラル豊富なおいしい水が飲める、農村のすばらしい環境ができていますね、あなたたちはそれだけ幸せなんですよ、都会にはそういう環境は無い、と言われます。阿賀野市民、農家も含めてですが、私たちは阿賀野市の良さが自覚できていないところが、どうやら、あるらしいです』

★農業・農村の多面的機能増進につながる環境保全が必要

○豊かな生態系(生物多様性が必要)に直接関わる産業は、農林水産業で、土地利用の割合も高い。

(新潟県の場合、全体面積の44%が田・畑・山林、人が住む宅地は4%しかない)

○農林水産業の多面的機能を維持管理している第1次産業は就業人口の1割にも満たない。

(新潟県の場合、第1次産業7.3%、第2次産業34.4%、第3次産業57.9%)

だから

1. 他産業の人たちへの、多面的機能啓発が不可欠です。
2. 農林漁業者および非農林漁業者のすべての人たちが、豊かな生態系による恵み(多面的機能を含む)について、あらためて認識し、新しい価値観をもつことが重要です。
3. 地球・日本・ふるさとのそれぞれのレベルの生態系を大切にしながら、有限な資源を無駄なく、平等に、将来にわたって利用できる、そんな社会の仕組みをつくる必要があります。

あなたは、農村環境の保全はなぜ必要だと思いますか？



~~~ おわり ~~~

(追伸)3月25日から28日まで、第53回日本生態学会大会が朱鷺メッセで開催されます。  
3月26日は、市民向け公開講演会がpm2時～5時まで開かれ、鷺谷いづみ氏らが『温暖化が動植物の生態や農林漁業などの産業にどんな影響を与えるか』について解説してくれるそうです。入場無料なので興味のある方は是非、講演を聞いてみてください。